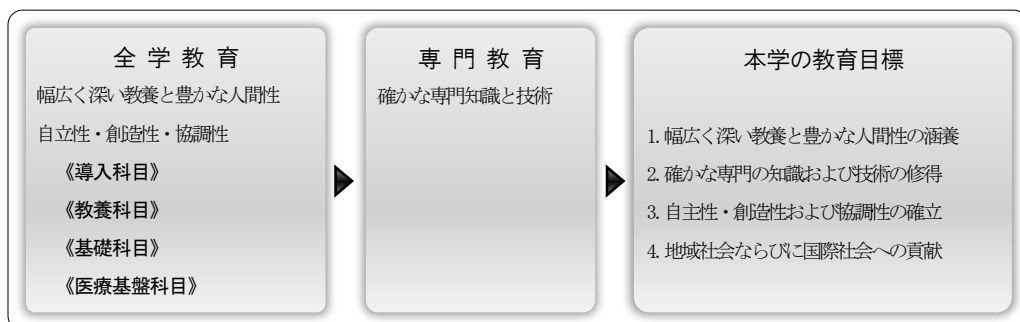


全学教育について

1. 北海道医療大学の教育プログラム

本学の教育プログラムは、全学教育と専門教育から成り立っています。



全学教育と専門教育は、履修の仕組みに関して違いはありませんが、授業科目の提供の仕方が違います。

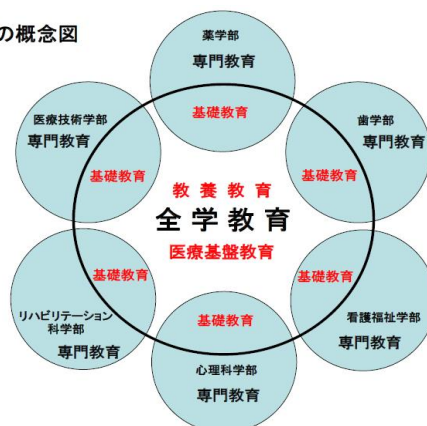
全学教育は、全学共通の視点で「全学教育推進センター」から主に人間基礎科学系教員によって授業が提供されます（一部では、専門教育担当教員も授業を提供しています）。教育目標の「幅広く深い教養と豊かな人間性」「自立性・創造性および協調性」「地域・国際社会への貢献力」を主に支えます。各学部学科は、これを活用して、入学から卒業までのカリキュラムを設計しています。

専門教育は、学部・学科ごとに主に専門教育担当教員が授業を提供するものです。教育目標の「確かな専門の知識および技術」を大きく支えます。

2. 全学教育とは

全学教育とは、北海道医療大学の教育目標を達成するために、全学共通の視点から提供される授業科目群のことを指します。他大学では教養教育、一般教育、共通教育などと呼ばれているものが該当します。

全学教育の概念図



人間基礎科学系教員は、学部と全学教育推進センターの双方に籍を置き、専門教育との連携で全学部が活用する全学教育を中心的に担っています。

専門教育担当教員は、学部学科で専門教育を担うとともに、全学教育にも責任をもち、全学教育の授業を担当する場合があります。

3. 全学教育の種類と科目区分

全学教育は<教養教育>、<基礎教育>、<医療基盤教育>に区分されます。

教養教育	幅広く深い教養と豊かな人間性を支える科目からなります。いわゆる人間力、社会力となります。導入科目と教養科目に区分されています。										
	導入科目	<p>大学で学ぶ態度・習慣、技術を身につけます。 基礎ゼミナールと文章指導からなります。</p> <table border="1" data-bbox="484 417 1230 527"> <tr> <td data-bbox="484 417 648 469">基礎ゼミナール</td> <td data-bbox="655 417 1230 469">学生主体で、幅広く学ぶ技術を身につけます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="484 469 648 527">文章指導</td> <td data-bbox="655 469 1230 527">具体的論述のほか、抽象的表現を書けるようにします。</td> </tr> </table>		基礎ゼミナール	学生主体で、幅広く学ぶ技術を身につけます。	文章指導	具体的論述のほか、抽象的表現を書けるようにします。				
基礎ゼミナール	学生主体で、幅広く学ぶ技術を身につけます。										
文章指導	具体的論述のほか、抽象的表現を書けるようにします。										
	教養科目	<p>人間力の中心（教養のコア）をつくる科目として重視され、人間力の基礎を築きます。生きていくための幅広い力をバランスよく身につけるために4つの科目を用意しています。基礎科目とのバランスで履修します。</p> <table border="1" data-bbox="484 643 1230 948"> <tr> <td data-bbox="484 643 648 720">人間と思想</td> <td data-bbox="655 643 1230 720">哲学・宗教・倫理などを通して、諸科学の基盤となる論理的思考と生きるための倫理観を身につけます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="484 720 648 797">人間と文化</td> <td data-bbox="655 720 1230 797">文化を考察することで、人間の生のあり方を深く理解します。また異文化理解を通して、他者との共生の道を探ります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="484 797 648 875">人間と社会</td> <td data-bbox="655 797 1230 875">社会・経済・法律について考えることで、現代社会の様々な課題を学びます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="484 875 648 948">自然と科学</td> <td data-bbox="655 875 1230 948">自然と科学を様々な視点から正しく認識するため、物理学・生物学・化学に関する教養を学びます。</td> </tr> </table>		人間と思想	哲学・宗教・倫理などを通して、諸科学の基盤となる論理的思考と生きるための倫理観を身につけます。	人間と文化	文化を考察することで、人間の生のあり方を深く理解します。また異文化理解を通して、他者との共生の道を探ります。	人間と社会	社会・経済・法律について考えることで、現代社会の様々な課題を学びます。	自然と科学	自然と科学を様々な視点から正しく認識するため、物理学・生物学・化学に関する教養を学びます。
人間と思想	哲学・宗教・倫理などを通して、諸科学の基盤となる論理的思考と生きるための倫理観を身につけます。										
人間と文化	文化を考察することで、人間の生のあり方を深く理解します。また異文化理解を通して、他者との共生の道を探ります。										
人間と社会	社会・経済・法律について考えることで、現代社会の様々な課題を学びます。										
自然と科学	自然と科学を様々な視点から正しく認識するため、物理学・生物学・化学に関する教養を学びます。										
基礎教育	専門教育を学ぶための基礎をつくる科目からなります。										
	外国語科目	英語・フランス語・ドイツ語・韓国語・中国語・ロシア語の学習を通して、国際性と異文化理解能力を身につけます。									
	健康・運動科学科目	健康や運動に関する基礎的知識を習得するとともに、健康を日常的に支える能力を養います。									
	情報科学科目	現代の生活を支えるコンピュータ技能とその活用方法を、実習も重視しながら学びます。									
	自然科学科目	専門の土台となる物理学・生物学・化学を、実験も重視しながら学びます。高校で基礎を学んでいない学生向けに、補正科目として自然科学入門も用意しています。									
	人文社会科目	法学、経済学、文化人類学など、専門の土台となる人文社会系科目を学びます。									
医療基盤教育	医療全体に共通する基本的内容の科目となります。										
	医療基盤科目	地域連携	地域とともにある医療の基礎を学びます。								
		医療倫理	医療の場で求められる共通の態度・習慣を身につけます。								
		多職種連携	専門職種間の有機的な連携と協業について学びます。								

4. 授業科目と授業題目

「授業科目」には、授業内容を具体的に表す「授業題目」が複数用意されているものがあります。この場合、履修規程にしたがってどの授業でも選択し、履修することができます。教養の多様性を重視する本学の教育において、各学生が様々な授業を選択できるように配慮しているからです。

特に教養科目では、内容を具体的に示す題目ごとに様々な授業が実施されており、履修した授業の単位は、その「授業題目」が置かれている「授業科目」の単位となります。

5. 単位とは

その授業の学習目標を達成したことの証拠となるものです。

授業に出席するだけでなく、予習と復習を行ない、定期試験やレポートなどで所定の成果が得られて初めて単位を得た（修得した）こととなります。なお、予習と復習の学習内容については、シラバスの「学習の準備」欄に具体的に記載してあったり、担当教員から指示があります。

卒業のために必要な単位数は学部・学科ごとに定められています。自分がこれまで何単位を修得しているか、卒業するためにはどの分野の科目を何単位修得すればよいかなどを把握しておくことが重要です。

本学の1授業時間は、80分です。15回の授業に予習と復習を合わせて2単位となることが基本ですが、1.5単位であったり、また語学や演習科目、実験科目などは1単位となる場合があります。

6. 科目履修の概念図

入学してから卒業までの学習の過程、全学教育と専門教育との関係は図のようになります。

